

熊本県総合射撃場 業務報告書

(平成23年7月)

財団法人熊本県スポーツ振興事業団・ミズノ(株)グループ



平成23年度 熊本県総合射撃場 業務報告 目次

I	管理業務を行うに当たっての基本方針	1
II	管理運営状況	1
	1 利用者対応	
	2 利用者拡大の取組	
	3 サービス向上の取組	
III	維持管理状況	2～4
	1 施設設備の維持管理	
	2 外溝や植栽の維持管理	
	3 施設の衛生管理	
	4 安全管理	
	5 環境保全	
IV	管理運営体制	4
	1 運営組織・体制	
	2 職員研修	
V	緊急時の体制・対応	5
	1 事故発生時の対策・対応	
	2 気象災害時の対策・対応	
	3 その他の対策	

【添付資料】

資料1 施設利用状況

資料2 職員による鉛回収状況

I 管理業務を行うに当たっての基本方針

「本県における射撃競技の普及・振興の拠点」としての役割を担う熊本県総合射撃場の管理を、法令や関係条例を遵守し、利用者第一主義の原点に立ち、射撃場が持つ機能を最大限に発揮した管理運営を行う。

II 管理運営状況

1 利用者対応

(1) 施設利用状況

施設名	利用者数		施設使用料	
	7月期	前年度当該月	7月期	前年度当該月
熊本県総合射撃場	554人	445人	1,377,180円	1,608,210円
累計	3,502人	2,155人	6,841,080円	4,775,160円

※詳細は別添資料のとおり。

※前年度との比較

利用者数は、ライフル射撃利用者の増加により増となっている。施設使用料は、大会参加者とクレー射撃利用者の減少により減となっている。

(2) 利用者からの苦情、要望等とその対応状況

期日	苦情、要望等	対応日	対応状況(回答)
7月6日	環境対策についての問い合わせと、水質検査等の調査要望がある。	7月6日	電話による問い合わせであったため、基本的事項について回答を行う。その後体育保健課に報告する。管理者として、環境対策に関する対応について検討し、体育保健課と協議を行った。

2 利用者拡大の取組

(1) 情報提供・広報活動

各情報は、ホームページ、パンフレット、リーフレットにより提供しています。

3 サービス向上の取組

(1) きめ細やかなサポート

① 大会運営サポート

[サポート実施状況]

大会名	実施内容	開催日
九州ブロック強化一般大会	スキート、トラップ射場のクレー放出機セット 大会審判が使用する机、旗、パラソルの設置	17日
第四次長崎公式	スキート、トラップ射場のクレー放出機セット 大会審判が使用する机、旗、パラソルの設置	18日
第一次熊本公式	スキート、トラップ射場のクレー放出機セット 大会審判が使用する机、旗、パラソルの設置	24日

III 維持管理状況

1 施設設備の維持管理

(1) 建築物や設備等の保守管理

① 職員による、点検シートに基づく目視や動作確認等の日常点検の実施

業務名	業務内容	実施回数
建物点検	目視点検	毎日
消防設備点検	目視点検	毎日
自動ドア点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	毎日
管理機器(芝刈り機等)点検	動作確認、燃料・オイル点検他	毎日
空調設備点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	随時
放送設備点検	動作確認、機能・音量点検整備	大会前

② 専門業者による、法定点検、専門性の高い点検の実施

業務名	業務内容	実施回数	実施日
			異常有・無
自家用電気工作物保安管理	漏電監視	365日 24時間	31日24時間
			異常無

(2) 建築・設備の修繕・改修

[業者実施修繕等一覧]

実施修繕	場所	期日
男子便所ウォシュレット修繕	事務所	2日

2 外溝や植栽の維持管理

射撃場内の樹木、芝生地、法面を景観の維持と災害予防の視点で、適切な管理を行っています。

[職員による作業内容]

場 所	実施内容	期 日
トラップ B 射場	草刈り(刈払機)と草取り(人力)	2日・6日
クレー射場	レンガ部分の草取り(人力)	6日
射撃場ゲート付近	草刈り(刈払機)	10日・23日・24日
トラップ A 射場	草刈り(刈払機)と草取り(人力)	13日・16日
クレー射場全面	草刈り(刈払機)と草取り(人力)	15日
クレー射場駐車場付近	草刈り(刈払機)	25日・28日
ライフル棟周辺	草刈り(刈払機)	29日・30日
進入道路両側法面	草刈り(刈払機)	28日・29日・30日

3 施設の衛生管理

職員作業により、清潔で快適な空間の提供を行っています。

[職員による日常清掃内容]

頻 度	区 域
毎日実施	(管 理 棟) 会議室、研修室、事務室、トイレ、廊下ホール、更衣室、 (ライフル棟) 玄関、トイレ (そ の 他) 屋外トイレ、ごみ収集
週 2 回	(ライフル棟) 審査室、ビームライフル会場、エアーライフル会場、 スモールボア会場、通路、
週 1 回	(管 理 棟) 銃器保管庫、倉庫 (そ の 他) クレー放出機地下ピット、屋外機械室、駐車場、一般ごみ処分
月 1 回	(そ の 他) 火薬庫、クレー庫、倉庫
随 時	窓ガラス、雨水排水設備、不燃物処分

4 安全管理

(1) 保安警備業務と体制

開場時間帯は職員による警備、閉場時間帯は株式会社キューネットによる警備を行い、24 時間体制で利用者の安全確保と防犯・防火・防災を行っています。

7 月は、不審者や夜間不法侵入者等への緊急出動はありませんでした。

区 分		業務内容	実施予定時期
職員実施		施設・設備点検、開閉錠、不審者、不法行為の発見や排除等	AM8:30～AM9:00 日中は随時 PM5:30～PM6:00
業者実施	機械警備	感熱・赤外線により火災・盗難、不良行為の監視	毎日、無人となる 夜間から朝まで
	人的警備	不審者、不法行為の発見などの問題発生時	随時対応

5 環境保全

環境省が定めている「射撃場に係る鉛汚染調査・対策ガイドライン」に基づき、鉛弾等の環境保全対策を行っています。また、回収作業は、グループ全体で取り組んでいます。

業 務 名	実施日
鉛回収作業(職員により実施)	作業実施内容・回数は別添資料のとおり。
調整池鉛混合汚泥処分	9日・24日(汚泥回収)
水質検査	なし

IV 管理運営体制

1 運営組織・体制

射撃場長(統括責任者)のもと1 課体制により、各種事業を円滑に行っております。

利用者対応は、供用時間帯に対応した勤務体制をとり、ホスピタリティな対応を行っております。

利用案内・窓口受付	受付時間	職員配置時間	備 考
管理棟受付窓口	9:00～17:00	8:30～18:30	施設点検・供用準備を含む。

2 職員研修

区分	研修名・科目	対 象	実施日
外部研修	スキルアップセミナー(心肺蘇生法・AED)	プロパー職員	11日
内部研修	ビームライフル利用者対応の指導研修	全職員	22日

V 緊急時の対策・対応

1 事故発生時の対策・対応

事故発生に備えて、全職員に“危機管理マニュアル”の徹底を図るとともに、AEDをはじめ、応急処置に必要な機器・用具を設置しています。さらに万が一の場合に備え、各種保険に加入しています。

○7月は、事故等に伴う職員の出勤はありませんでした。

○7月は、施設所有(管理)者賠償責任補償等の適用となるような事故はありませんでした。

[危機管理マニュアル]

・台風、豪雨対応	・火災、地震災害対策
・施設の爆破、占拠等対応	・人的災害対応
・光化学スモッグ対応	・落雷事故対応
・新型インフルエンザ対応行動計画	・熱中症予防対策

[常備危機・用具]

機器・用具等	配置場所
AED(自動体外式除細動器)	管理棟受付前
使い捨て担架(ディスポストレッチャー)	管理棟受付
救急用具:消毒薬、包帯、三角巾、添木 等	管理棟受付

[賠償保険加入状況]

保険内容	補償内容
社会体育施設保険 (財団法人日本体育施設協会)	[施設所有(管理)者賠償責任保険] 対人賠償:1事故につき4億円(1名につき2億円) 対物賠償:1事故につき2億円
	[スポーツ災害補償保険] 死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日2,500円
行事参加者傷害保険 (エース損害保険株式会社)	死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日3,000円 通院1日2,000円

2 気象災害時の対策・対応

○7月は、気象災害に伴う職員の出勤はありませんでした。

3 その他の対策

[その他の対応]

区分	内容	対応	期日
熱中症	熱中症予防対策	測定及び注意喚起	1日~31日

実施日	鉛回収量	汚泥回収量	回収地点				備 考
			A	B	C	D	
5日(火)	300kg	0kg					
10日(日)	50kg	0kg					
16日(土)	50kg	0kg					
26日(火)	250kg	0kg					
合 計	650kg	0kg	2	3	3	3	
累 計	3,340kg	2,200kg	11	10	9	9	

装弾発射量	クレー使用枚数	鉛弾量(1発)	推定鉛量	累計鉛量	備 考
	26,594枚	0.024kg	約638.3kg	約2,850.9kg	

鉛回収地点図

